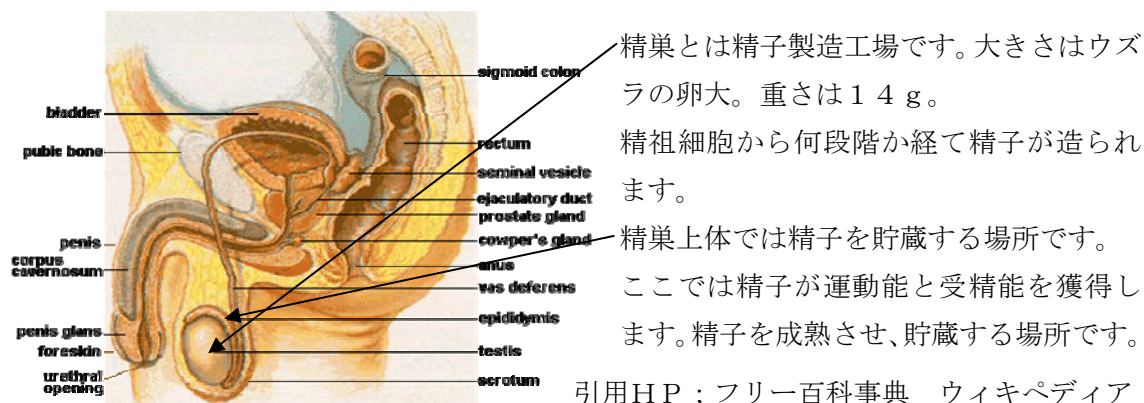


不妊カップルの4～5割に男性にも異常が認められるとされます。これから検査を受けようとする方、現在治療中の方は男性の体のしくみを知っておきましょう！これから数回のシリーズで男性不妊についての解説と最近の話題についてお届けいたします。



引用HP；フリー百科事典 ウィキペディア

精液中に占める精子の割合はほんの1%で、残りの99%は精漿と呼ばれる液体です。精巣上体、精囊や前立腺などの副性器から分泌された液体が精漿になります。副性器に何か障害があると精子を造る機能が障害される、精子の運動が悪くなる、精子が死んでしまうなどの異常が起こります。

射精された精液中に精子がない場合は、精巣で精子が造られないか（造精障害）、または、精子の輸送路である精細管にトラブルが起きていることが考えられます（精子輸送路通過障害）。以下に男性生殖器の部位別に起こる異常を示します。

男性生殖器の部位別に起こる異常

- 1、膀胱：精液が尿道に送られず膀胱に逆行すること（逆行性射精）
- 2、精管：精子の通過が障害される（閉塞性無精子症）
- 3、前立腺 精囊腺：炎症を起こし精子の運動率を低下させる（精子無力症、膿精液症）  
精液が造られない（無精液症）
- 4、陰茎・亀頭：勃起ができない（勃起不全）  
射精できない（射精障害）
- 5、精巣：精子が形成されない（非閉塞性無精子症）  
精子が少ししか造られない（乏精子症）
- 6、精索静脈：精巣周囲の静脈の弁の働きが悪くなり血流がうっ滞して、精巣内の温度が上昇し精子形成に悪影響が起こる（精索静脈瘤）

最近の話題：生殖医療で権威ある医学雑誌に携帯電話の使いすぎは精子濃度、運動率、生存率正常形態率に異常をきたすことが報告されました。電磁波が原因ではないかと推測されています。使用は一日2時間以内に抑えましょう。（Fertility & Sterility vol.89, p124-128, 2008）

担当；胚培養士 米田